

<5月2日の国際リサーチ&インサイト・デーに寄せて>

ESOMAR 会長 ジョアキン・ブレッチャ

データの無い世界を想像できますか？

(あなたが) あなたの国の市場調査協会に参加しない理由があるでしょうか？

「ピークオイル（論）」について聞いたことはありませんか？ それは、地球からの石油の採掘量が最大に達する理論上のポイントであり、その後は衰退期に入ると予想されています。最新の予測では、「ピークオイル」は2020年代のうちに発生します。では、その後はどうなるのでしょうか？ 予測はさまざまですが、準備ができていない世界では、郊外がスラム化したり、空の旅ができなくなったり、公共交通機関が大幅に減少し、世界中で大きな経済的困難が広がる可能性があります。OPEC（石油輸出国機構）は1960年に設立された団体で、この重要な化石燃料の使用と開発を先延ばしし、保護することで、上記のようなシナリオの防止を目指しています。

5月2日は、国際リサーチ・デーです。「ピークオイル」とデータ及びインサイトは、どのような関係にあるのでしょうか？ さて、データを新しい石油にたとえることは10年以上も前から言われていて、それは的を射ています。炭化水素は私たちの輸送手段、インフラ、エネルギーの原動力であり、データは企業、社会、政府において私たちの情報と意思決定のニーズを左右します。それぞれがそれぞれの道で、かけがえのないものです。しかし、それでも私たちは、両方を「当然のようにあるもの」と考えています。多くの人々にとって、石油とデータが私たちに提供するものは、私たちの日常生活には見えません。そして、OPECが石油の使用と開発を延長し、保護するために作られたのと同様に、データの使用と開発期間を延長し、保護する上で重要な団体に投資することを忘れないでください: それは、間違いなくあなたの国の市場調査協会です。

「データは新しい石油である」という言葉を聞くたびに、私は（石油のように）データの収集が停止してしまった世界について考えます。私は、インサイト業界にいる私たちがすべての仕事を失ってしまうのではないかという、自分勝手なことを考えているわけではありません。データの消失による、社会的影響の拡大を想像するのにそれほど時間はかかりません。ありがたいことに、国、地域、そしてグローバルなレベルで多くの市場調査団体があり、そのようなシナリオから社会を守るために、オープンで、誠実で、信頼できるデータの適用法を推進し、発展させるために懸命に働いています。

公共サービスは、政府が（データを）どのように、または誰に提供するのかをほとんど知らないため、損害をこうむるでしょう。公共交通機関、ソーシャルサービス、政策立案など、よりさまざまな分野でリソースの混乱が生じる可能性があります。世論調査なしでは、政府は国民

の意見に縛られることがなく、選挙中のプロパガンダと偽の（フェイク）ニュースが繁栄するでしょう。それらの妥当性をチェックする手段がないからです。

企業にとっては、単なる想像に基づいて開発された製品が、それらがどのように機能するかを全く理解されないまま発売され、広告は、ターゲット層に対する直感的な理解をベースとした広告代理店によって宣伝されることとなります。

データのない世界では、無駄なものばかりになるでしょう。私たちは、経済的な観点から 19 世紀に戻った自分自身を見つけることでしょう。政府、企業、慈善団体は、失敗した製品やサービスを通じてお金を失うこととなります。もちろん、企業が失敗すると雇用が失われ、不況が生じ、貧富の格差がさらに広がります。

これらのすべては極端な話に聞こえますが、幸いにも石油とデータの間には重要な違いがあります。石油は、もちろん有限の資源です。一方でデータは、人類が観察する行動や態度を保持している限り、無限です。製品、サービス、及び政策についての決定を行う必要がある限り、洞察力が必要となります。

データが枯渇することはないでしょうが、かといって危険がないと言うわけではありません。ほぼ毎週、新たなデータ侵害が発生しており、データの収集や保存の方法が貧弱であるため、毎年何十億もの人々が影響を受けています。これらの侵害は、消費者の信頼を低下させる程度がわずかなものであったとしても、より重大な結果をもたらします。私にとっての「ピークデータ」は、政府が個人を保護するためにデータ収集に対して法的措置を講じ、データの収集と保存が非倫理的で、秘密にされる時点となるでしょう。または、政府がデータを完全にコントロールし、それを彼らの国民を制御し、管理したい時に使用する時点でしょう。

このような未来に対抗する方法はあります。データとインサイトを扱う人々にとって最も簡単で重要なことは、将来にわたってデータを収集して使用できるようにするために、協会に参加することです。協会に参加する意義は、知識を共有し、学び、ネットワークに入るためだけではありません。多くの協会は、基本的な法的要求事項を上回る行動規範とガイドラインを持っています。それは、誠実で透明性の高いデータ使用の原則を強調し、調査参加者にデータの収集と保存に対する明確で、倫理的かつ信頼できるアプローチを提供します。さらに、多くの協会が各国の規制当局と絶えず連絡をとっており、データ保護法が検討されているときにリサーチャーの声が確実に届くようにしています。簡単に言えば、より多くのリサーチャーが登録すればするほど、規制当局者に対する協会の信頼性はより高まることとなります。彼らが自国に及ぼす影響が大きくなるほど、私たちの職業の世界的な評判が強化されるでしょう。

そこで、国際リサーチ・デーを、「ピークデータ」に達した場合に何が起こるかを想像する機会としてください。もしも、あなたがまだ協会のメンバーでない場合には、ぜひ今日から参加してください。